



## 新連載

自動車リサイクル業界を担うホープ(7)

名前:青木 大地 (あおき たいち) (18歳)  
 所属:ウエイグパーツ 有限会社和氣商店  
 担当:生産事業部 前処理担当  
 特技:陸上競技

MBTI:運動型(熱意・創造性にあふれる活力に満ちた人。新しい可能性に対して積極的で、挑戦することに価値を見出します。)

— 仕事で誰にも負けない部分  
 笑顔でお客様や会社の方と接すること

— この業界の魅力を一言で  
 沢山の車と関わることが出来ること

— 将来の業界への期待  
 これからの時代に合ったリサイクル法の  
 基で地球環境に貢献出来ること

\*MBTIとは認識・決定理由・処理方法など16タイプの性格に当てはめるテストで、キャリアの適性判断、チームワークの強化、最近ではアイドルのプロフィールなど様々な分野で利用されています。

## INDEX

- 【新連載】自動車リサイクル業界を担うホープ/巻頭言 —— P.1
- 第59回自動車リサイクルWG(合同審議会) — P.2
- 【特集】資源回収インセンティブ制度を紐解くPart 7 —— P.3
- トラック解体作業見学会・意見交換会/JAERA会議報告 — P.4
- 9月新車販売・使用済自動車発生台数 —— P.5
- 鉄スクラップ最新情報 —— P.6
- 行事予定・お知らせ / 編集後記 —— P.7

## 巻頭言

広報部会

伊地知 志郎

2024年も早1年が過ぎようとしています。今年は新年早々に能登半島地震の悲しいニュースで幕が上がりましたが、一方で、夏のパリオリンピックや、メジャーリーグで大谷翔平選手が54本塁打59盗塁と前人未達の記録を打ち立てるなど、スポーツ界では明るいニュースが沢山ありました。

来年は蛇年です。蛇が苦手な人もいるかもしれませんが、古来より豊穡や金運を司る神様として祀られ、神聖な生き物として認識されてきました。

私たちの業界でも、カーボンニュートラルへの挑戦、国内再資源化に取り組むことが重要視されはじまりました。2025年は、“辛抱強く”、“粘り強く”知恵を出して努力していき、中古部品ではオールジャパンの流通も始まりますので、お客様のお手元により良い品質の商品が届けられるよう精進していきたいと思えます。

## 02

## JAERA 第59回自動車リサイクルWGに出席 —石井代表の発信内容にフォーカス—

### 自動車リサイクルWGで解体業界の現状を発信

第59回自動車リサイクルWG（正式名称：産業構造審議会イノベーション・環境分科会資源循環経済小委員会自動車リサイクルWG中央環境審議会循環型社会部会自動車リサイクル専門委員会第59回合同会議）にJAERAの石井代表理事が出席されました。本ページでは解体業界の現状など当日発信した内容を整理してご紹介します。



#### 不適正業者との不当な競争

- ▶使用済自動車の減少と仕入価格の高騰が著しい。
- ▶JAERA調べでは解体事業者のうち1/4が外国人事業者であり、加えて新規参入はほとんど外国人という状況である。外国人事業者の実態調査を要望したい。
- ▶解体業の許可更新の際、JAERAの自動車リサイクル士制度を活用いただきたい。また、自動車リサイクル士制度の認定機関を自動車リサイクル促進センター（JARC）とすることも検討していただく。
- ▶日本語と自動車リサイクル法並びにそれらの制度を理解するものが在籍していることは、我々（日本人の解体事業者）と同じ土俵に上がる第1歩であり、自動車リサイクル法20年目の評価検討に向けて前向きに検討いただきたい。



#### 中古車輸出について

- ▶廃車寸前の車が海外に輸出され、不適正な処理によって環境破壊や地球温暖化につながっているのではないかと懸念している。経済合理性により輸出を止めることは出来ないと理解しているが、経済安保、輸送安全上の観点からHVやEV中古車の輸出禁止を検討いただきたい。



#### 駆動用バッテリーについて

- ▶米国の1番大きなEVメーカーが自動車再資源化協力機構（JARP）の回収スキームに入っていない。火災を起こした車両等の処理に問題がある。処理する段階で火災が発生し、消防車が何台も来るという事案も発生している。



#### 静脈のものづくり

- ▶外国人事業者の全てが悪い訳ということではないが、この業界が全て不適正な処理を行う事業者となってしまうと、国が進めて行こうしている動静脈連携によるサーキュラーなモノづくりの推進、並びに資源回収インセンティブ制度の安定運用、そして何より日本のものづくりが行き詰まることがないように皆様とともに検討していきたい。



#### リサイクル料金について

- ▶これまでも継続して主張してきたが、リサイクル料金の他車充当方式（年金方式）について、自動車ユーザーの費用負担低減の観点からも是非検討していただきたい。



#### 一時抹消中で放置されている車両について

- ▶一時抹消中で放置されている車両の追跡調査をお願いしたい。解体業者では永久抹消を行っているが、不適正処理業者で不当に解体された車は、一時抹消のまま放置されている可能性があるということを懸念している。

## 03 ▶【特集】資源回収インセンティブ制度を紐解く (Part7)

### テーマは「樹脂の特性」

資源回収インセンティブ制度（本制度）について正しい理解をテーマとした特集の第7弾！今回は回収した樹脂をいかに効率的に輸送できるかについてスポットを当てました。今回、樹脂の歴史に触れながら、回収対象となる樹脂の種類や特性、判別方法について解説していきます。

#### 【プラスチックの歴史】

プラスチックとは、主に石油などを原料とした成形品を指します。その語源はギリシャ語の「plastikos（プラスティコス）」で、「可塑性（かそせい）」※を意味し、もともとは物質の性質を表す言葉でした。歴史を遡ると、1862年に植物由来のセルロースを原料として最初の人造プラスチックが開発されました。その後、1907年には完全合成プラスチックが誕生しました。プラスチックは技術革新とともに進化を続け、現在では日常生活やさまざまな産業において欠かせない存在となっています。しかし一方で、環境問題への対応も重要な課題となっています。



※可塑性=外から力を加えることで形を自由に変えられ、その形がそのまま残るといった性質

#### 【樹脂の種類】

世の中には、成分や性質が異なる種類の樹脂が沢山あります。その中でも、自動車に使用されている主な樹脂は表1に示す3種類です。

【表1】

| 略語（名称）                          | 性質                          | 主な部品                   |
|---------------------------------|-----------------------------|------------------------|
| PP（ポリプロピレン）                     | 自動車用樹脂の約6割を占めている。軽量で加工性も高い。 | バンパー・内装材など             |
| PE（ポリエチレン）                      | 加工性・防水性・耐薬品性に優れている。         | ガソリタンクやウィンドウオッシャータンクなど |
| ABS（アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン共重合合成樹脂） | 耐衝撃性、表面の光沢性や着色性に優れている。      | ダッシュボードトリムやホイールキャップなど  |

#### 【資源回収インセンティブ制度で回収となる樹脂は“PP”】

本制度で回収対象となる樹脂はPPとされています。PPは主にバンパーやドアトリムなどの内装材に広く使用されており、皆様も日常的に手にしていることが多い部品に用いられています。PPはリサイクル性が比較的高い材料で、再利用するマテリアルリサイクル、原料化して再利用するケミカルリサイクル、燃料として利用するサーマルリサイクルのいずれにも対応できます。

#### 【“PP”であることをどのように識別するか】

ではPP部品のみを回収するため、現場スタッフはどう識別したら良いのでしょうか。超ベテランスタッフの方で叩いた音などで分かるという方もおられるようですが…正直見た目での識別は困難です。ですが、表2のとおり樹脂部品にPPであることを刻印がされており、それを確認して判断することとなります。なお、この刻印は、ISO規格により100gを超える部品には必ず表示されています。

#### 【まとめ】

樹脂にはさまざまな種類がありますが、本制度で対象となるのはPPです。その樹脂部品を回収するために現場では“刻印の確認”という作業が必要となります。既に回収作業を行っているスタッフの話によると「刻印の確認自体は慣れてくると、それほど時間や手間はかからないが、正しい識別を行うため、現場での確認方法の周知やスタッフの理解が必要である」とのことです。

【表2】主な刻印例

|         |
|---------|
| >PP<    |
| >PP+OO< |
| >PP—OO< |



赤線部：実際の刻印

次号に続く!!

## 04 ▶ JTP・JAERA 共催によるトラック解体作業見学会を開催

### トラックの解体現場での課題を中心に活発な意見交換

11月8日(金) JTP・JAERA 共催の「トラック解体作業見学会・意見交換会」が佐賀県鳥栖市の株式会社カネタニで行われました。当日は申し込みのあった解体事業者に加え、一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人日本自動車車体工業会など総勢30名以上の参加があり、ボトルカー(ジュースやお茶などの飲み物を運ぶためのトラック)の解体を、日本自動車車体工業会が公開している解体マニュアルと作業者の経験を交えながら実演されました。解体実演後には、トラックの解体現場での課題を中心に活発な意見交換が行われました。



ボトルカー



解体方法の説明



見学会の様子



カネタニイメージキャラクターのカリユくん

## 05 ▶ JAERA 会議報告

### 関東ブロック会議(対面) 10月25日(金) 東京都港区—今こそ繋がりを大事に—

各支部から支部長などが集まり、対面とWEB併せて16名が一堂に会した。機構本部からは石井代表理事、奥野事務局長が出席し、「JAERAの誰もが輝ける未来づくり」構想に関する意見交換や本部活動報告、最後には各支部からの情報提供が行われた。また、電気自動車の整備、解体時に必要となる「電気自動車等の整備の業務に係る特別教育」について説明が行われ、各支部での再周知や講習会の企画について検討が行われた。有原ブロック長の「みんなが苦しい今だからこそ、会員の繋がりを大事にしていきたい」という言葉で締めくくられた。

### TOPIC | 福島県支部でフロン類・エアバッグ類の適正処理講習会を開催

11月2日(土) 福島県郡山市でフロン類とエアバッグ類の適正処理に関する講習会を開催し、講習者18名が受講会場に集まりました。自動車再資源化協力機構の濱野穂貴様にご登壇いただき、適正処理と安全作業に関する理解度をより深め、講習会後には受講者に受講修了書が手渡されました。



講習の様子

### TOPIC | JARC 主催 —解体事業者の自動車リサイクルへの取り組みを学ぶ見学会を開催 鹿児島市立桜洲小学校5年生が参加!—

解体事業者の自動車リサイクルへの取り組みに直接触れる機会を提供するため、自動車リサイクル促進センター主催の小学生現場見学会が10月18日(金)に鹿児島県のオートパーツ伊地知で開催されました。見学に訪れた鹿児島市立桜洲小学校5年生の子どもたちは、自動車のほとんどがリサイクルされていることに非常に驚いていました。「1日何台作業するの?」、「この会社に入った理由はなんですか?」など多くの質問が飛び交い、この業界に興味を持ってくれた子どもたちの真剣な目が印象的でした。



初めて見る解体に興味津々

06

2024年度 駆動用HVバッテリー共同出荷事業  
10月出荷状況と今期累計

上段：10月出荷数 下段：今期累計 単位：個

| 参加会社数<br>(社) | プリウス20 | プリウス30 | プリウスα41 | レクサス<br>CT200H | アクア<br>/ヴィッツ | カローラアクシオ<br>/フィルダー | クラウンHV<br>GWS204 | クラウンHV<br>AWS210 |
|--------------|--------|--------|---------|----------------|--------------|--------------------|------------------|------------------|
| 25           | 3      | 19     | 1       | 0              | 16           | 2                  | 1                | 0                |
| 64           | 78     | 356    | 4       | 1              | 325          | 4                  | 7                | 9                |

| SAI/レクサス<br>HS250H | 日産デュトロ<br>/ブルーリボン | ノア/ヴィクシー<br>/エスファイア | シエンタHV | プリウス50 | プロボックス<br>サクシード | マツダ<br>アクセラ | 不良品A~C | 合計  |
|--------------------|-------------------|---------------------|--------|--------|-----------------|-------------|--------|-----|
| 1                  | 0                 | 0                   | 0      | 0      | 0               | 0           | 32     | 75  |
| 4                  | 5                 | 6                   | 4      | 5      | 0               | 0           | 124    | 932 |

2023年度の結果はこちら ▶

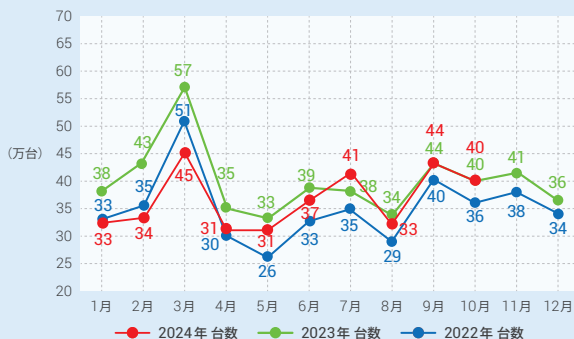
<https://elv.or.jp/index.php?itemid=1906>

07

10月新車販売・使用済自動車発生台数

2024年10月度 新車販売台数 402,310台 (前年同月比101.2%)

※出所：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会

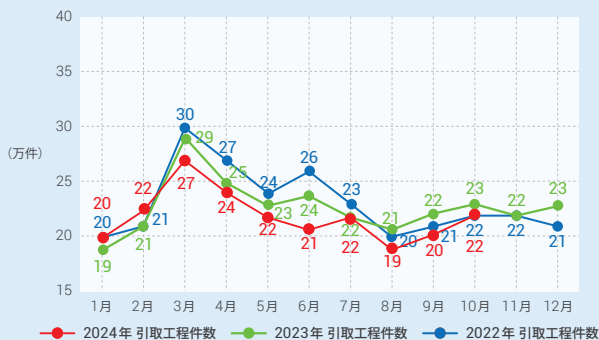


過去の新車販売台数推移

| 年累計              | 台数        | 前年比 (%) |
|------------------|-----------|---------|
| 2024年<br>(10月まで) | 3,702,179 | 92.4    |
| 2023年            | 4,779,086 | 113.8   |
| 2022年            | 4,201,320 | 94.4    |
| 2021年            | 4,448,340 | 96.7    |
| 2010年            | 4,598,615 | 88.5    |

2024年10月度 使用済自動車引取 (電子マニフェスト) 実施状況

※出所：公益財団法人 自動車リサイクル促進センター



引取件数

|         |                       |
|---------|-----------------------|
| 10月     | 223,523件 (前年同月比95.7%) |
| フロン回収工程 |                       |
| 10月     | 200,198件 (前年同月比95.6%) |
| 解体工程    |                       |
| 10月     | 231,143件 (前年同月比95.8%) |

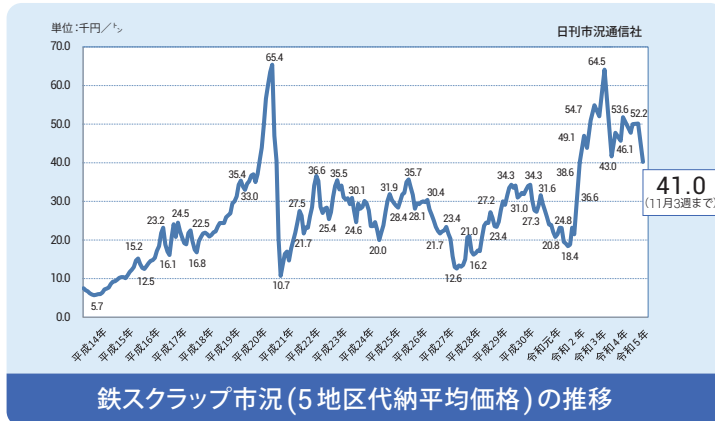
使用済自動車引取件数の月別推移 (2024年 2023年 2022年)

## 08

## 鉄スクラップ最新情報

[ 提供：日刊市況通信社 ]

## 11月第4週（22日）の鉄スクラップ動向



## 10月22日の国内スクラップ炉前実勢価格(中心値)

|     |     | H2              | 気配  |
|-----|-----|-----------------|-----|
| 関東  | 北関東 | 40,500 ~ 41,500 | 様子見 |
|     | 南関東 | 40,500 ~ 41,500 | 様子見 |
|     | 浜値  | 41,500 ~ 43,000 | 様子見 |
| 名古屋 |     | 40,000 ~ 41,500 | 様子見 |
| 関西  | 大阪  | 39,500 ~ 41,500 | 様子見 |
|     | 姫路  | 41,500 ~ 43,000 | 様子見 |

## トルコの輸入鉄スクラップ市場に新規成約、価格は続落

トルコの輸入鉄スクラップ市場では断続的に新規成約が出ており、価格は下落が続く展開となっている。11月19日付で決まった米国玉の新規成約では、HMS1&2 (80:20) がCFR353ドル、シュレッダーとボーナス (HS相当) がCFR373ドルを付けた。11日前後の成約ではHMS1&2 (80:20) がCFR362ドルで決まっており、ここから9ドルの下落となった。

また11月第4週前半には英国玉の新規成約も決まっており、HMS1&2 (80:20) がCFR340ドルを付けた。英国玉は欧州の中では比較的高値となる傾向にあり、米国玉との価格差は3～4ドルとみられる。この直近の成約を基準とした場合、米国玉HMS1&2 (80:20) の気配値はCFR343～344ドルどころとなり、トルコの輸入相場としては一段安の動きだ。

## 台湾の輸入スクラップ相場が小幅値下がり

台湾の輸入鉄スクラップ市場で11月18～19日に米国玉コンテナ積みHMS1&2 (80:20) の新規成約が決まり、価格はCFR310～315ドルと、前週比で3ドルどころの小幅な値下がりとなった。11月15日の週末の時点で米国シッパーの同品種に対するオファーはCFR320～325ドルだったが、11月第4週の中盤にはCFR315～320ドルに下がっている。

## 関東 様子見商状続く 市中スクラップの発生低調

関東市場の鉄スクラップ市況は、引き続き様子見商状だ。電炉H2購入価格、H2浜値とも6週間にわたって4万円台前半での推移が続いている。市中スクラップの発生は低調な状態が続いており、市中問屋筋によると、東京都内の解体工事なども減少し、関東全体に品薄感が広がっている状況だ。関東地区のH2炉前実勢価格は40,500～41,500円中心。H2浜値は41,500～43,000円中心で推移しており、堅調ムードにある。

## 東海 電炉は様子見姿勢 荷動き冴えず

名古屋地区電炉は11月に入り1度も動きを見せることなく、様子見姿勢を維持している。西日本電炉の一部には値上げ改定も行われたが、東海域内は6週連続の横ばい推移。電炉各社は夏場にかけて在庫を積み増したが、秋以降も生産が伸び悩んでいるため在庫余力を抱えたままの状態にある。市中発生が依然として低調なため荷動きは冴えないが、問屋筋は通常の出荷体制を保っている。H2炉前実勢価格は40,000～41,500円中心。

## 大阪 各社様子見も荷動きに勢い見られず

大阪地区の鉄スクラップ市況は概ね様子見が続いている。こうした中、電炉需要にバラつきが見られる。実勢格差の解消状況によっては荷動きに不透明感が残ることも考えられるため、電炉筋の多くは一定の引き合いを継続している。電炉筋の多くは入荷を確保できているが、在庫の積み増しを図れるほどの荷動きではない。H2炉前実勢価格は、大阪地区が39,500～41,500円中心、一部高値42,000円。姫路地区が41,500～43,000円中心。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、10月22日午後時点のもの)

## 09 ▶ お知らせ

## —自動車再資源協力機構(自再協)より—年末年始のフロン類集荷日程について

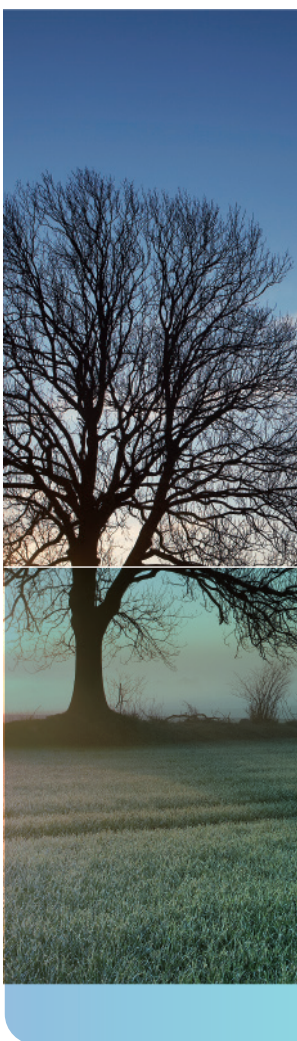
年末年始のフロン類集荷日程について、自再協よりお知らせがございました。集荷依頼、引渡報告・ボンベ受け取りの期日が決まっておりますので、計画的なボンベの引渡しにご協力をお願いいたします。

| 年末スケジュール             |                   |                     |                     |                     |
|----------------------|-------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| リサイクルシステム<br>最終集荷依頼日 | 電話・FAX<br>最終集荷依頼日 | ボンベ/パレット<br>年内最終集荷日 | リサイクルシステム<br>引渡報告期日 | ボンベ/パレット<br>年内最終返却日 |
| 2024/12/9 (月)        | 2024/12/10 (火)    | 2024/12/13 (金)      | 2024/12/17 (火)      | 2024/12/25 (水)      |

詳細は自再協 HP より ▶

<https://jarp.org/> ※リンク先、当法人からの「お知らせ」からアクセスしてください。

## 編 集 後 記



ちょっとした会議や打ち合わせはWEBでも十分な世の中になったせいか、このところすっかり宿泊出張が減り、特にコロナ禍以降は日帰り出張が多くなりました。地方への宿泊出張の際は、仕事後に折角だからとその地方の名物料理と地酒を頂くのが楽しみの一つですが、懐石料理店や賑やかな居酒屋などは好まず、その地方で古くから店を開いている、ひなびっていて老夫婦で切り盛りしているような店を探して入るのが好きだったりします。初対面ながら世間話をしつつ地元料理と地酒を味わっていると「はるばる来て良かった」と満足するのです。

もう一つの楽しみは、朝、宿泊先で読む朝刊です。新聞と言ってもその地元紙を読むのが面白いのです。政治とか経済面はどこでもそんなに変わらないので興味はありませんが、その地方やコミュニティーでの出来事や話題に目を惹かれてしまいます。読者投稿欄を読むと、私が住む地域にはない目新しい記事が掲載されていて、毎日同じで狭くながちな私の視野を広げてくれそうで楽しくなります。ちょっとした楽しみがあると仕事も充実します。やっぱり出張はこうありがたいものですね。

広報部会長 田村 幸男

## 12 月の主な行事予定 ※12月28日(土)～1月5日(日)まで事務局はお休みとなります。

- 2日(月) | 第9回広報部会(対面)
- 4日(水) | 自動車リサイクル士新規講習会 合格発表(JAERAホームページにて)
- 5日(木) | JARC主催 第3回自動車リサイクル会議(対面・WEB)
- 13日(金) | 第2回ブロック長会議(対面・WEB)
- 16日(月) | 日本自動車リサイクル機構 第18回景況調査(27日まで)
- 17日(火) | 東北ブロック会議(対面)
- 19日(木) | J-FAR(資源回収インセンティブ実装事業)定例会(WEB)
- 26日(木) | J-FAR(異常電池適正処理)定例会(WEB)

※急遽、日程変更・延期の場合がございます。

編集・発行責任者

一般社団法人日本自動車リサイクル機構  
広報部会長 田村 幸男

お問い合わせ先

一般社団法人日本自動車リサイクル機構 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目11-3 虎ノ門アサヒビル3階  
TEL:03-3519-5181 FAX:03-3597-5171 MAIL:jaera-homepage@elv.or.jp HP:https://www.elv.or.jp

